

尾道市立向東中学校 第2学年社会科学学習指導案

単元名：開国と近代日本の歩み～明治維新～

本単元で育成する資質能力：主体性・積極性，論理的思考力
協働する力

指導者 尾道市立向東中学校
教諭 池田 直樹

日時：令和3年2月5日（金）第5校時
学年・学級：2年2組30名（男子18名 女子12名）
場所：2年2組 教室

単元観

本単元は、江戸時代が終わり、近世から近代へと大きな変化が起こる時代の転換期である。学習指導要領歴史分野の内容「近代の日本と世界」の中項目イ「明治維新と近代国家の形成」によると、開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解する。」ことを目的として構成されたものである。

学制や税制改革など現在につながる諸制度が作られるとともに、欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で人々の生活が大きく変化した。また、複雑な国際情勢の中で独立を保ち、近代国家を形成していった人々の努力にも気づかせることができる単元である。

さらに学習指導要領の身につけさせる項目として、「近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること」とあり、政治の展開・産業の発達・社会の様子・文化の特色などに着目し、他の時代との共通点・相違点から、学習した内容を比較したり関連付けたりすることを通して、その結果を言葉や図などで表現したり、互いに意見交換する活動が示されている。これらの活動を通して「思考力、判断力、判断力等」を養うとともに時代の特色を生徒が自分の言葉で表現できるような「確かな理解と定着を図る」ことが求められている。

生徒観

本学年生徒の社会科に対してのアンケート結果は以下の通りである。

「社会科が好きですか」		「社会ができるようになりたい」	
とても当てはまる	24%	とても当てはまる	41%
やや当てはまる	45%	やや当てはまる	46%
あまり当てはまらない	26%	あまり当てはまらない	8%
全く当てはまらない	5%	全く当てはまらない	5%

「社会科が好き」という質問に対して、「とてもそう当てはまる」と「やや当てはまる」と回答した生徒が約7割である。さらに「社会ができるようになりたい」という質問に対しては、8割以上の生徒が肯定的な評価であり、社会科の学習に対して意欲的でモチベーションは高い生徒が多いことが分かる。

次に本単元で身につけさせたい思考力・判断力・表現力についてのアンケート結果は以下の通りである。

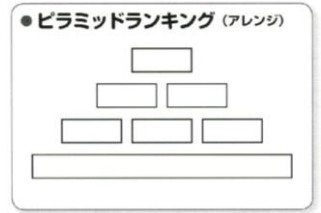
「資料を基に自分の考えを文章に記述することが得意である」	
とてもあてはまる	10%
やや当てはまる	28%
あまり当てはまらない	48%
全くあてはまらない	14%

アンケート結果から約6割の生徒が、「資料を基に自分の考えを記述すること」に苦手意識を持っていることが分かる。資料から読み取る技能はもちろんのこと自分の考えを整理し、文章にまとめる力を身につけていく必要がある。

指導観

本単元では、明治時代の大観学習として多面的・多角的に明治維新を振り返り、明治維新が近代化という当時の歴史の中でどのような意義があったのかを思考・判断・表現させることを目標としている。しかし生徒アンケートによると、約6割の生徒が資料を基に自分の考えを記述することに対して苦手意識を持っていることが分かる。

そこで思考ツールを活用し、自らの考えを整理、可視化させたくて表現する活動を取り入れる。そうすることで、記述が苦手な生徒も思考を整理しながら、自らの考えを表現することができる。本単元では「ピラミッドランキング」という思考ツールを用いて、生徒が明治維新の政策の中で重要性を感じるもののうち、より重要度の高いものを整理し、その理由を交流する学習活動を行う。そうすることで明治政府の政策を再確認するとともに、時代を大観するキーワードを獲得し、「明治時代はどのような時代か」という問いに迫れると考える。



単元の目標と評価規準

(1) 単元目標

開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。

(2) 単元を貫く本質的な問い

明治時代とはどのような時代か。

明治維新によって日本社会や人々の生活はどのように変化したか。

(3) 永続的理解

明治時代は日本が近代国家として国際的地位を向上させた時代である。そのために、積極的に欧米文化を取り入れ、廃藩置県、富国強兵、殖産興業、地租改正、学制の公布など様々な改革を行った。その結果、工業のめざましい発展や身分制度の廃止、民主政治の発展などがみられた一方で、公害や労働問題が発生するなど人々の生活に大きな影響を与えた。

(4) 評価規準

観点	社会的事象に対する 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料の活用技能	社会的事象についての 知識・理解
単元 の 評 価 規 準	明治維新の経緯に関する関心を高め、意欲的に追究することができる。	新政府が行った学制・兵制・税制などの諸改革を江戸時代の制度と比較しながら考察し、公正に判断・表現することができる。	憲法制定過程、選挙制度などについて、資料から読み取ったりまとめたりすることができる。	近代的な産業発展のため政府が進めた富国強兵・殖産興業政策の内容を理解し、その知識を身につけることができる。

単元指導計画

(全12時間 本時 8/12)

時数	学習内容	生徒に獲得させる 資質・能力	評 価	
			観点	評 価 規 準 (評価方法)
1	<p>新政府の方針や諸改革の内容を調べ、中央集権国家体制確立の様子を説明できる。</p> <p>新政府が行った改革によって江戸時代とどのように変化したのかを読み取る。</p>	主体性・積極性	知	ワークシート 行動観察
2	<p>明治政府の学制・兵制・税制改革を説明できる。</p> <p>明治維新の三大改革が人々の生活にどのような影響を与えたのか説明する。</p>	協働する力 論理的思考力	思 ・ 知	ワークシート 行動観察
3	<p>文明開化による人々の生活の変化を読み取ることができる。</p> <p>江戸時代の江戸の様子と明治時代の都市の様子を比較して、変化を読み取り説明する。 新政府が行った富国強兵・殖産興業の具体的な内容を理解する。</p>	主体性・積極性 論理的思考力	技	ワークシート 行動観察
4	<p>明治政府の外交政策について、欧米諸国やアジア諸国の視点から考察し、説明することができる。</p> <p>明治政府の外交政策とその課題を各国との関係から読み取る。</p>	協働する力 論理的思考力	技 ・ 思	ワークシート 行動観察
5	<p>自由民権運動の高まりを政党の結成や憲法草案などの資料から考えることができる。</p> <p>資料を通して、自由民権運動の高まりを生徒の結成や憲法草案などの資料から考え、理解する。</p>	主体性・積極性	関 ・ 知	ワークシート 行動観察
6	<p>大日本帝国憲法が日本の国際的地位にどのような影響を与えたか説明できる。</p> <p>大日本帝国憲法制定によって、国内外にどのような影響があったか資料から読み取る。</p>	論理的思考力	技 ・ 知	ワークシート 行動観察

7	明治政府の重要政策ランキングを根拠をもって完成できる。 明治政府の近代化政策の中で最も支持する政策と支持しない政策をピラミッドランキングを活用し決定する。	主体性・積極性 論理的思考力	関・思	ワークシート 行動観察
8 本時	明治時代がどのような時代かグループで考察し、自ら解釈することができる。 個人が作ったランキングをグループで交流する。 グループでの交流をもとに明治時代がどのような時代かを記述する。	論理的思考力	関・思	ワークシート 行動観察
9	明治時代がよい時代になるような政策を考えることができる。 前時で学習したことを踏まえて明治時代を紹介する新聞を作成する。	主体性・積極性 論理的思考力	関・知	ワークシート 行動観察 新聞
10	明治時代を紹介する新聞記事を作成することができる。 明治時代を紹介する新聞を作成する。	主体性・積極性 論理的思考力		
11	明治時代を紹介する新聞記事を完成させることができる。 明治時代を紹介する新聞を完成させる。	主体性・積極性 論理的思考力	関・知	ワークシート 行動観察 新聞
12	完成した新聞を鑑賞し、感想を交流できる。 完成した新聞を鑑賞し、感想を交流する	主体性・積極性	関	ワークシート 行動観察 新聞

パフォーマンス課題

あなたは歴史新聞社の記者です。

このたび歴史新聞社では、明治時代150周年を記念して、特集記事を書くことになりました。

編集長から「明治時代はどのような時代か？」という課題が出されます。

課題に関する答えを社内会議で検討し、明治時代を紹介する新聞記事を完成させなさい。

パフォーマンス課題に対するルーブリック

尺度	記述語（パフォーマンスの特徴）
3	明治時代の時代背景を理解し、具体的な例が書かれている。自分が考えた明治政府の最も重要な政策や他の生徒の考えをもとに考察できている。 国内情勢・対外情勢に触れながら、他の政策との比較を通して、「明治時代がどのような時代か」根拠を持って記述することができる。
2	明治時代の時代背景を理解し具体的な例が書かれている。明治政府の最も重要な政策について、国内情勢や対外情勢のいずれかを根拠に、「明治時代がどのような時代か」記述することができる。
1	自分が考えた明治政府の最も重要な政策から、1つ根拠を挙げて「明治時代がどのような時代か」考えが持てる。

本時の学習

(1) 目標： 明治時代がどのような時代かグループで考察し、自ら解釈することができる。

(2) 観点別評価： 時代の特色を生徒自らの言葉で表現できる（社会的な思考・判断・表現）

(3) 学習展開

学習活動	主体的に学ぶ生徒の姿	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て）	評価規準 （評価方法）
【導入】 1. 前時の復習 明治時代の学習を振り返る	明治時代に何が あったのか課題 意識を持ちなが ら復習している。	◆ICT を活用し、視覚的にイメ ージさせながらテンポよく明治 時代の復習を行う。	
本時の目標： 明治時代がどのような時代かグループで考察し、自ら解釈することができる。			
【展開】 2. 明治時代の政策ランキン グ（最も支持・支持しない） をグループで交流する。 3. 明治時代がどのような時 代かグループで考察し、ホ ワイトボードに記述する 4. 全体交流・質疑応答 5. まとめ 6. 振り返りの記入	自分の意見を根 拠をもって相手 に伝えている。 他者と議論しな がら、明治時代が どのような時代 か話し合いを深 めている。 自分の意見や他 者の意見を参考 に明治時代がど のような時代か 記述している。	◇大切なキーワードを付箋（プ ラスの情報は青、マイナスの情報 は赤）に書きワークシートに貼 り付けさせる。 ◇グループでの交流やメモした 付箋をもとに、明治時代がど のような時代かをグループで考 察させる。 ◆クラゲチャートの形式でまと め、主張と根拠が視覚的にわか りやすいようにする。 ◇全体で明治政府の政策につい てプラスの共通点とマイナスの 共通点を見つけ出す。 ◇明治時代が歴史学の中でど のように評価されているのか 様々な立場の意見を配布し、再 度考えさせる。	思考・判断・表現 （ワークシート） 思考・判断・表現 （振り返り）
まとめ（例） 「明治時代は今の日本の礎となった時代」 学制や地租改正さらには帝国議会や憲法の発布など現在につながる国の仕組みが作られた。 また欧米に技術や文化を学び国内を更に発展させようとした時代だった。しかし、民衆の視点から 見ると徴兵令や地租改正での納税など負担がたくさんあった。			